広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
圃地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢　政隆
リポーター

大久保勝男
リポーター

遠藤　千春
リポーター

地元の食の魅力を学ぶ

新巻鮭・イクラ作り体験　12月２日

さばいたサケから取り出したイクラを見て微笑む児童

久喜小学校の５・６年生が、久喜漁港で新巻鮭とイクラの塩漬けづくりを体験。児童たちは、久喜生産部や家族の力を借りながらサケをさばき、地元の魅力を学習しました。６年生の広崎翼さんは「初めての体験だったけれど、うまくできてよかったです」と笑顔を浮かべました。

親子で小久慈焼づくり

小久慈焼陶芸教室　11月21日

作品づくりに真剣な表情を浮かべる参加者

未来づくり事業「小久慈焼チーム」主催の陶芸教室に家族連れら16人が参加しました。講師の下嶽智美さんの指導の下、好きな模様を描いたり、切り抜いたりして夢灯りを制作。子どもたちは手びねりでコップや皿などをワイワイ楽しそうに作りました。（大久保）

子育てをテーマに意見交換

久慈市保育園保護者連合会研修会　12月５日

子どもの遊び場所について話し合う参加者

市保育園保護者連合会が研修会を開催。参加者は、子どもの遊び場で困っていることや既存施設の利用などについて、ワークショップ形式で話し合いました。広域道の駅事業子育て応援アンケートも行われ、より良い子育て環境の整備に向けて、意見が交換されました。

体験通じ人権の重要さを実感

障がい者体験型人権サッカー教室　11月20日

音を頼りに狙った方向にボールを蹴る児童たち

久慈湊小学校４年生29人が、ブラインドサッカーを体験。児童たちは、プロサッカー選手たちの指導を受け、目隠しをしての運動に挑戦しました。コルジャ仙台の千田直樹選手は「体験を通じ声掛けやふれあいなど、人権の重要さを実感してほしい」と子どもたちに語りました。

アレン女史の教えを後世に

アレン国際短大跡地に記念碑建立　11月21日

記念碑を見つめ思い出を振り返る同窓生の皆さん

旧アレン国際短期大学の同窓生でつくるアレン有志会が、同大学跡地に記念碑を建立しました。記念碑には、創設者タマシン・アレン女史の開学の辞「魂を育て精神を鍛える」を刻印。現地を訪れた同窓生は、当時を振り返り、アレン女史の教えや思い出話に花を咲かせました。

スキー場の安全と来客を願う

平庭高原スキー場安全祈願祭　12月11日

今シーズンの無事故を願い祈りを捧げる下舘社長

平庭高原スキー場の安全祈願祭が開かれ、参加した約20人の関係者は今季の無事故を祈願。スキー場を運営する平庭観光開発㈱の下舘満吉代表取締役社長は「新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、皆さんに安心・安全に利用してもらいたいです」と思いを述べました。

地産地消の推進に力を込める

市内農業団体と飲食店が連携　12月16日

収穫したソバ（上写真）を手渡す小倉組合長（右）

農事組合法人ライスランド久慈は、今季初めてソバの栽培に挑戦。収穫されたソバ450㌔は、市内飲食店に渡されました。同法人の小倉明代表理事組合長は「慣れない栽培で大変でしたが、地産地消の推進のため、来年以降も継続していきたいです」と意気込みました。

県補助活用し防犯灯を更新

県企業局クリーンエネルギー導入支援事業　12月10日

更新された長内小学校通学路のＬＥＤ防犯灯

岩手県企業局クリーンエネルギー導入支援事業を活用し、市内小・中学校施設周辺の防犯灯170基を、ＬＥＤ防犯灯に更新しました。市は関係団体と連携し、省エネルギーや環境保全意識向上を目的に、今後も定期的に防犯灯の更新を進めていきます。

久慈の特産品を明和町で提供

三重県明和町　満月屋台　11月30日

久慈の特産品が使われたメニューを受け取る参加者
画像：(一社)明和観光商社提供

市とヘルスツーリズムを中心に連携している三重県明和町で、満月屋台が開催されました。同イベントでは、久慈の短角牛やサケを使ったメニューを提供。オンラインを活用し遠藤市長と世古口哲哉明和町長の対談やガイドの意見交換も行われ、両市町の交流が深められました。

夏井地区老人クラブ連合会を中心に開催

令和２年最後の市老連主催地区懇談会　12月８日

「100万人会員増強運動」に応えた大阪の増員活動事例に見入る参加者

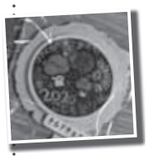
市老人クラブ連合会主催の地区懇談会が夏井市民センターで開催され、約30人が出席しました。町内各クラブ活動の成果や問題点などについて多くの会員が発言。「高齢者が増えても会員減少」という全国的な現状も知ることができ有意義な懇談会となりました。（梅沢）

小渡　正利
リポーター

櫛桁　允法
リポーター

子どもたちに楽しみを届ける

中学生ボランティアがお菓子を配付　12月10日


メンバーがイラストをデザイン(上)
煎餅を受け取る小学生(右)

大川目中学校のボランティアグループ「ドリームズブロッコリー」が、地元の保育園や小学校にイラスト入りの煎餅などを配りました。同グループの野里真心（まなか）さんは「予定していた子ども祭りが中止となり、今回少しでも楽しみが届けられてよかったです」と微笑みました。

新たな健康教室のかたち

オンライン健康教室　12月15日

画面越しに吉田先生の講演を聞く参加者ら

山形町関地区で開かれた健康教室に、地区住民14人が参加。山形診療所の吉田弘之所長がオンラインを活用し、健康管理について講演しました。参加者の火石京子さんは「離れた場所でも先生の顔を見ながら話が聞けて、良い体験になりました」と満足げの様子でした。